

# クリーンレイク諏訪 諏訪湖だより

No.55

1 月

2022/令和4年



## 今回のトピックス

### 1号焼却炉の定期修繕を行いました

クリーンレイク諏訪には、下水処理の過程で発生する汚泥を減量化するため、流動床焼却炉（処理能力：35 t/日）が2炉あります。

焼却炉は、850℃以上の高温で汚泥を焼却しているため、設備の劣化が激しいことから、毎年交互に定期修繕を行っています。今年度は1号炉を修繕し、劣化部品の交換や清掃等を行いました。

また、上記修繕のほか、毎日目視による点検や異音の有無を確認し、設備が適切に稼働するよう管理しています。



焼却炉の外観

### 2号汚水ポンプの修繕を行いました

処理場に流入した下水は、汚水ポンプにより水処理施設へ揚水し、処理を行っています。

汚水ポンプは3台設置されており、そのうち、今年度は2号汚水ポンプの修繕を行いました。

通常時は、約 4,000~5000m<sup>3</sup>/h の下水が流入しており、汚水ポンプを 1~2 台稼働していますが、大雨で流入水量が多い時は、ポンプを3台全て稼働し、最大揚水量（約 10,000m<sup>3</sup>/h）で対応しています。



修繕の様子

## BCP 訓練を実施しました

12月23日にクリーンレイク諏訪で、流域関係市町村の職員の方々にも参加していただき、『水害を想定したBCP訓練』を実施しました。

訓練では、連絡系統や初動対応を確認するとともに、ロールプレイング方式による訓練を行いました。コントローラーから電話や紙面で様々な被害情報等が付与され、参加者はその情報に基づいて対応を検討し、必要な対策を講じました。

今回の訓練で当所と流域市町村との連携が強化され、BCPの実行性の向上につながりました。

【下水道におけるBCP（業務継続計画）とは】

➤ 災害が発生した場合等を想定して、下水道機能の継続と早期回復を図るための計画です。



訓練の様子

## ロビーにウナギが!?

管理本館1階ロビーにある『水槽』には様々な魚が生息しており、その中にはウナギも住んでいます。ウナギは夜行性のため、昼間は砂の中などに身を潜めていますが、日中ときどき、エサを食べに姿を見せてくれます。来所された際にはぜひ水槽の魚をご覧ください。



管理本館1階の水槽



ウナギの様子